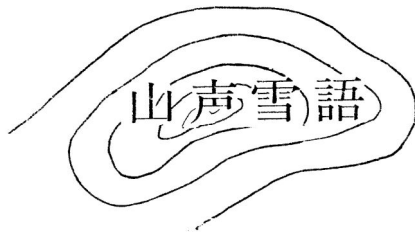


京交山岳部報

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2450回★ 京都一周トレイル コースを歩く 第1回 (稲荷～北白川)	5月14日(土) 9:00 JR 稲荷駅集合	岡田 茂久	JR 稲荷駅…泉涌寺…清水山… 將軍塚…蹴上…大文字山四辻… 鹿ヶ谷…北白川
<p>備考 京都一周トレイルコースの西山コース開設を記念して、改めて全コースをシリーズで歩きます。</p> <p>参加連絡は、前日までに担当者へ。</p> <p>今後の予定 第2回 北白川～比叡山(オプション) 古城巡り～瓜生山城址、てんこ山城址</p> <p>第3回 比叡山～大原～鞍馬</p> <p>第4回 二の瀬～清滝</p> <p>第5回 清滝～苔寺(オプション) 古城巡り～嵐山城址</p> <p>※ 地図「京都一周トレイルコース」東山, 北山東部, 北山西部, 西山</p>			
第2451回★ 春のハイキング 新緑の高雄山	5月22日(日) 8:00 壬生厚生会館前集合	井戸 澄夫	壬生一高雄…神護寺…高雄山 (△428.8)…清滝川…高雄
備考 参加申し込みは担当者まで。			
第2452回★★★★ 中央アルプス 「三ノ沢岳」と 「戸倉山」	5月28日(土) ～29日(日) 28日 7:00 壬生厚生会館前集合	吉田 武	1日目 京都一駒ヶ根 IC— 戸倉山キャンプ場… 戸倉山…戸倉山キャ ンプ場…駒ヶ根高原… 千畳敷 ホテル千畳敷泊まり 2日目 ホテル千畳敷…極楽 平…三ノ沢分岐…三 ノ沢岳…極楽平…千 畳敷駒ヶ根 IC…京 都

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
<p>備考 装備 冬山装備, サングラス, 日帰り登山用嗜好品及び行動食 ★残雪期の山ですので, 十分な装備を★</p> <p>費用 30,000円</p> <p>宿泊 ホテル千畳敷 長野県駒ヶ根市赤穂759-489 TEL0265-83-5201</p> <p>参加者は, ホテル千畳敷に宿泊しますので, 5月10日までに担当者に連絡してください。</p>			
<p>第2453回★ 京岳連 自然保護委員会 春の植生観察会 東山阿弥陀ヶ峰～ 將軍塚</p>	<p>5月29日(日) 9:00 市バス「東山七条」下車 智積院北側(京都女子学園への登り口付近, 国立博物館東側)集合</p>	<p>岡田 茂久</p>	<p>豊国廟の太閤垣(植生観察)… 阿弥陀ヶ峰…国道1号線トンネル…清閑寺山…清水山…將軍塚…円山公園(解散)</p>
<p>備考 新緑の候, 京都をとりまく山々はシイ, カシの樹冠が薄黄色に盛り上がって見えます。里山の多くが照葉樹林に変わってきたからです。なぜでしょう。そんな林の様子を高木層, 低木層, 草木層に分けて観察します。</p> <p>参加資格 軽いハイキングができる方なら誰でも参加できます。</p> <p>申し込み 参加費添え, 5月23日までに担当者まで</p> <p>参加費 500円(豊国廟入山料, 資料代, 保険料)</p> <p>持ち物 弁当, 水筒, 帽子, ゴミ袋, 筆記具, 行動食, 雨具, (ストック), 地図 観察用に双眼鏡, ルーペ, メジャーがあればより楽しめます。</p> <p>地図 「京都一周トレイルコース」東山</p> <p>小雨決行です。当日の問い合わせは, 午前7時までに担当者へ。</p>			
<p>第2454回★ 京岳連平成17年度 一斉清掃登山 天王山</p>	<p>6月5日(日) 8:45 山崎聖天下公園集合</p>	<p>岡田 茂久</p> <p>方山 宗子</p>	<p>山崎聖天下公園…天王山</p>
<p>備考 参加申し込みは, 前日までに担当者へ。 大山崎町 天王山を守る会協賛です。</p>			
<p>今月の集会 日時 5月10日(火) 18:30～ 場所 厚生会館 4F 大教室</p>		<p>企画運営委員会 日時 5月19日(木) 18:30～ 場所 厚生会館 4F 六角会議室</p>	



花の命は短いというが、京都市内の桜（ソメイヨシノ）も4月10日の土曜日がピークであった。例年より遅めではあったが、週末ということで大変な人出であった。地下鉄の現金収入も祇園祭に並ぶ記録的なものであった。17日には方山宗子さんの退職記念登山で若狭の青葉山に登った。山行の詳細は次号部報で掲載されるが、絶好の天気にも恵まれ、大いに盛り上がった。道中は丹波路を北上したのだが、今度は山里の桜が満開で2度目の花見を楽しむことができた。山里にはコブシも満開で、桜のピンクとコブシの白が競うように咲き乱れていた。

今年の5月のゴールデンウィークは、3連休が2回あり、2日と6日に休暇をとれば10連休も可能である。京都への観光客も例年以上に増加すると思われるが、交通局では今年も組合と協力して「都大路作戦」を展開する。京都駅、四条駅などのターミナルと観光地周辺での案内・カード販売などを実施する。毎年、問題になるのが東山通、嵐山などの人気観光地周辺の交通渋滞である。今年も京都駅―五条坂のシャトルバスの他、東山通で市バスが大幅に遅れた時に、地下鉄に無料で乗り換えてもらうなどの新方策を練っている。いつも思うのは5月のゴールデンウィークや秋の紅葉のピーク時には、他府県から大量のマイカーが押し寄せることが分かっているから、思い切った交通規制ができないのかということである。東大路や嵐山に行く市バスは2時間遅れといったことが常態化している。せっかく京都観光を楽しむにきてきた人々に不快感を与えるだけでなく、近隣住民への迷惑も図り知れない。地球温暖化対策等の環境上の問題もある。観光客5000万人を目指すのであればマイカー対策は避けて通れない問題である。

深刻な交通渋滞は、大都市共通の悩みである。ロンドンでは市内中心部に流入する車に通行料を取る政策を2年前から始めた。その結果、交通量は30%減少し、地下鉄・バスの利用者が大きく増えた。一方、小売業者は売上の減少を訴えている。賛否両論の中、昨年6月に提唱者である市長が再選され、政策はロンドン市民の支持を得た形になった。一般にヨーロッパでは環境問題への関心が強く、公共交通優先の政策への支持が強い。最近、京阪電車の楠葉駅前に大規模なショッピングモールが開業した。駅の直近であるにも拘らず、郊外の大型店のような2000台を超える大駐車場を備えている。開店当初の休日は押し寄せたマイカーで幹線道路は渋滞し、結果として駅ターミナルへ来る乗合バスは大幅に遅延していた。同じようなことが京都市内中心部でも起こっている。公共交通の最も充実している場所に、大百貨店は大駐車場を併設し、町中の空き地は、ほとんど駐車場となっている。市民の大半は通勤・通学は公共交通を利用する人が多い。そのほうが早くて確実だからである。一方、休日にはマイカーで行楽や買い物に出る。そうした意味では、百貨店や繁華街が大きな駐車場を備えるのは、需要と供給にかなったことであるといえよう。しかし、経済的理由や肉体的理由で公共交通しか利用できない人々にとっては、交通渋滞によってもたらされる時間的・肉体的損失を背負わされることとなる。また地球環境を考えた場合、排出ガスが多く、燃料効率の悪いマイカー利用は、理念としては控えるべきといえる。それでも車が減らないのは、それだけ魅力ある商品だということか。

(H. 17. 4. 19. 記 S. I.)

【第2445回例会】

「貝月山」二等三角点1234m

OB 吉田 武

貝月山は伊吹山の真北にある山で標高は1234mと感のの良い数字で、僕の記録では昭和57年10月25日に登っている。

山科で清水君と三橋さんを乗せて関が原からR417を通過してR303久瀬村日阪から揖斐高原スキー場に駐車した。

スキー客も疎らで数台の車しか止まっていない、中高年の登山者がブンゲンに登るので地図を出して教えてあげた、途中のふれあいの森までは貝月山と同じ林道を歩き、ふれあいの森から林道は分かれている、右にルートを取り距離2km、標高差200mで品又峠につき、峠から160mくらいでブンゲンに着きますと教えてあげた。

揖斐高原スキー場のゲレンデになっている林道を少し登りリフトをくぐると林道に雪上車の足跡がつづいている、少し歩みにくいだが足が潜らずにすむのでキャタピラ跡を歩いた。

ふれあいの森にはバンガローや管理棟が雪の中に静まり返っていた。

所々ショウトカットして標高980mの日越についた、林道はここまででここからはルートを右にとって稜線を登った。

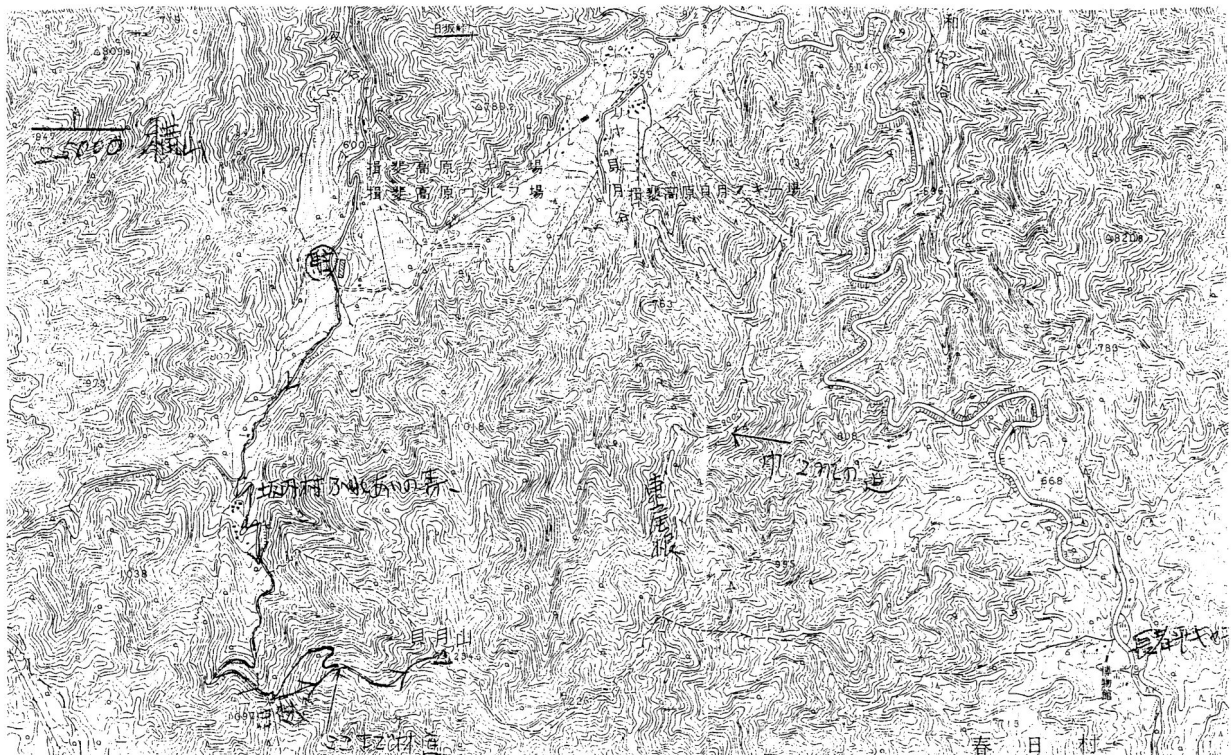
ピークを1つ登ったところの平地で12時になったのでパラボナアンテナのある貝月山のピークを見ながら昼食をとった。

パラボナアンテナのある頂上についてはそれから30分程であった、のぞかな気持ちの良い天気と広い頂上、暫く休憩をした。

貝月山から見る伊吹山はミニ苗場山のようにあまり大きさは感じなかった。

越美国境の山々、そして白山、奥越の山々も真っ白に輝いていた。往路下山

【参加者】三橋 勉、清水 康裕、吉田 武



【コースタイム】 7:30 御陵 — 8:30 関ヶ原 IC — 9:50 揖斐高原スキー場坂内ゲレンデ駐車場
10:15…11:50 日越峠…12:25 (昼食) 12:55…13:15 貝月山山頂1,234m
13:20 — 13:45 日越峠…14:35 揖斐高原スキー場坂内ゲレンデ駐車場 15:15 —
18:00 御陵

【第2447回例会】

母袋烏帽子山

清水 康裕

4月2日母袋温泉スキー場駐車場まで、ほとんど雪が無かった。辛うじてスキー場のゲレンデに雪があったのだが、もうすでに営業はしていなかった。われわれの車が林道を登って行こうとすると、管理人のおじさんがそれを制止して、駐車場に止めてそこから歩いて登ってほしいと言った。そのおじさんの話からすると、林道は雪がいっぱいありそうであったが、林道の始まりからしばらくは全然雪が無かった。でも、少しずつ雪が現れてきて、山の上の方は結構雪がありそうだと感じた。それにしても、リボンなどの目印がほとんど無くわかりにくいのが、何度目かの林道のカーブから分かれた細い道を少し入ると登山道の標識があり、雪が数十センチメートル積もっている檜林を登っていく。途中で林道を1回横切り、さらに登ると「何々の道」というように標識が所々立っている尾根道になる。母袋烏帽子山の山頂は、開けていて展望が良い。晴天であるのに、春霞で遠くのほうはハッキリしない。三角点は雪の下に埋もれてわからなかった。山頂で昼食をとったあと下山した。吉田さんは、購入したばかりのスノーシューをさっそくためされ、非常に感心しておられた。朝に駐車場で会ったおじさんに再び会ったので、母袋温泉に入湯させてと頼んだが、もう営業していないので断られた。帰りの道中で、かつて京都有喜屋で腕を振るっておられた方が関 IC 近くで営業されている「そば屋和蕎庵」で舌鼓を打たせてもらい、非常に満足させてもらった。

【参加者】 吉田 武, 三橋 勉, 清水康裕

【コースタイム】 6:35 御陵 — 6:40 京都東 IC — 8:30 郡上八幡 IC — 9:00 母袋温泉スキー場駐車場 9:15…10:10 お助け水分岐 10:15…10:40 白樺の道…10:55 大木の恵水分岐…11:00 ブナの道…11:10 笹の道…11:20 母袋烏帽子山山頂1,340m
12:00 — 13:10 母袋温泉スキー場駐車場 — 14:10 道の駅「美並」 14:20 —
15:00 「そば屋 和蕎庵 (京都有喜屋暖簾分け)」 15:20 — 15:25 関 IC — 17:15
御陵

【第2448回例会】

大和葛城山～金剛山縦走

清水 康裕

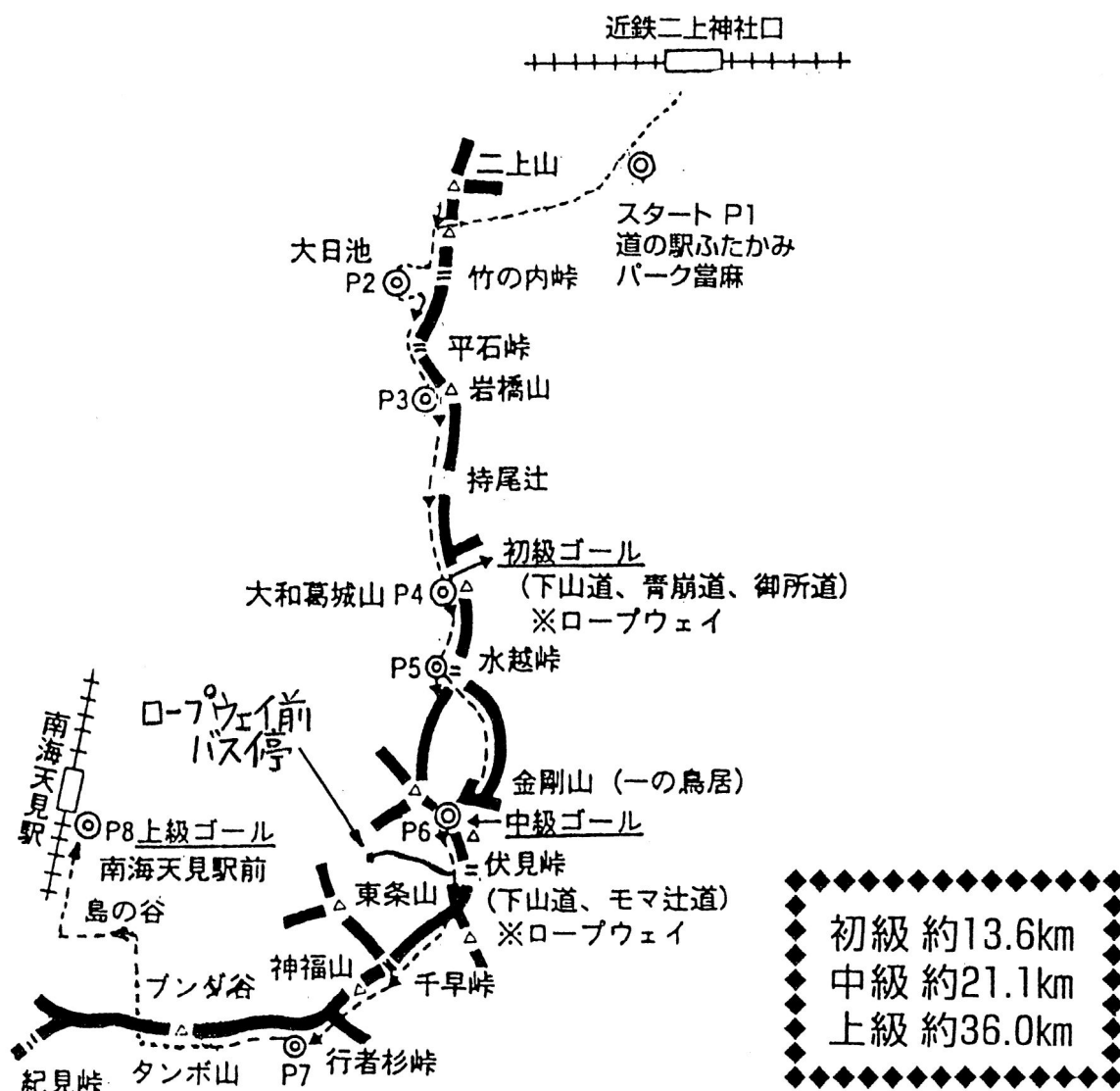
4月10日晴。昨年初参加し、部員動静により報告した大阪府山岳連盟主催のダイヤモンドトレイルに今年も参加した。室谷氏はダイトレにもう何回も参加している。今年スタート地点が「道の駅ふたかみパーク當麻」に変更され、昨年までのコースよりも短縮されていた。我々は今年は大坂まわりで来て、昨年より1時間早く出発できたので楽勝だと思った。余裕で勝手に二上山雌岳474.2mをオプションで付け加えた。岩橋山で金剛山チェックポイントの関門制限時刻が昨年より30分早い14:30に変更されたことを知って、あまり余裕が無いということにはじめて気づいた。大和葛城山へ

の急な階段の登り，大和葛城山からの急な階段の下りや金剛山への急な階段の登りに脚をつりかけて，脚を揉みながら登る。また昨年と同じ泣きのパターンである。室谷氏はというと，ずっと元気である。15分前で金剛山のチェックポイント（約1,080m）を通過し，しばらく下山したところで昼食をとった。室谷氏が夜に町内会の用事があるので，2人とも伏見峠から念仏坂を歩いてエスケープした。ロープウェイ前バス停から金剛バスで近鉄富田林駅まで行き，近鉄電車に乗り近鉄古市駅にて大阪まわりで帰る室谷氏と分れ，橿原神宮経由で京都へ帰った。

来年，参加者が増えるなら，もっと余裕を持って山行するために，「道の駅 ふたかみパーク当麻」にテント泊してでも6：00過ぎに受付を済ましてスタートしたいものである。

【参加者】室谷和彦，清水康裕

【コースタイム】5：13 JR山科駅—7：12 近鉄 二上神社口駅 7：20…7：35 スタート地点
 「道の駅 ふたかみパーク当麻」 7：45…8：15 岩屋峠…8：30（オプション二上山 雌岳）…8：40 岩屋峠…8：50 竹の内峠下（大日池）…9：30 平石峠…
 10：00 岩橋山 10：10…10：40 持尾辻…11：50 大和葛城山チェックポイント…
 12：05 大和葛城山山頂959.2m…12：50 水越峠…13：15 金剛の水…13：20 林道
 との分れ…14：15 金剛山チェックポイント…14：25（昼食）14：40…14：45 伏見
 峠…（エスケープルート 念仏坂）…15：20 ロープウェイ前バス停—（金剛バス）
 —16：00近鉄富田林駅



【個人山行】

野山（粟生 I）

伊 藤 潤 治

平成17年度の山は恵方からと思いついて、調べると恵方とは、「その年の神の来臨する方向で吉方、元方えほうなど書き、塞がりの方向に対して明あきの方かたとも言う。万福、食物、財宝の豊かな方向と考えられていて、陰陽道では甲、己の年は寅、卯の間（北東東）。乙、庚の年は申、酉の間（南西西）。丙、戊つちのえ、辛かのと、癸みづのとの年は巳、午の間（東南南）。丁、壬の年は子、亥の間（西北北）」だそうです。

これによれば平成17年は、乙酉歳だから恵方は申、酉の間（南西西）であり、従って私の場合は京都西南部5万図が恵方に当たるのである。

京都西南部5万図には京都府内で未登の三角点が5点残っている。このたびはこの内から長岡京市唯一の三角点である粟生 I を選んだ。

長岡京市役所に参上して、粟生 I には山頂名はなく一帯は、野山または西山と呼ばれている。登路は長法寺横から。その長法寺行きバス時刻まで、いろいろご親切なご指導をいただき長法寺バス停で下車できた。

けれどその地点の誤認と地形図の誤読が重なり長法寺まで約1時間を無駄に費やした。

長法寺では安全対策の赤テープを見せて納得してもらったが、はじめ道が放置のままなので危険だから登らないでくれと制止されたのであった。

長法寺横の孟宗竹林を行くと右折があり、その右折は僅かであったが、間もなく意外な歩道に合い尾根に上がると、前方高所の樹林に粟生 I 標高230m三等三角点はひそやかにあった。その三角点は地上に筍の如く立ち立派な山頂を形成して、まことに美事であった。

これが平成17年の初登頂、うれしくて雪山讃歌をうたい充分たのしんだあと、危惧してくれた長法寺にお礼をのべてきたのであった。平成17年1月5日（水）。

例 会 報 告

例会No.	目的地	月 日	天候	担当者	参加者	記 事
2 4 4 5	貝月山	3月19日	晴	吉田 武	三橋 勉 清水 康裕	(別稿詳報)
2 4 4 7	母袋烏帽子山	4月2日	晴	吉田 武	三橋 勉 清水 康裕	(別稿詳報)
2 4 4 8	大和葛城山～ 金剛山縦走	4月10日	晴	清水 康裕	室谷 和彦	(別稿詳細)